

# きらめき

坂城町女性団体連絡会だより 第43号

発行 坂城町女性団体連絡会  
編集 女団連だより編集委員会



## 活動報告

### 「女と男ふれあいさかき」 2023

植松 朱美

11月11日、坂城テクノセンターにおいて、女と男ふれあいさかき2023を開催し、「坂城男女共同みんなの会の活動について」の活動発表と、映画監督・ノンフィクション作家の信友直子さんによる記念講演を行いました。

信友さんの講演演題は「認知症が私たち家族にくれたギフト」でした。2018年、信友さんの認知症の母と、老老介護する父の日常を描いた映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」が公開され、大ヒットになりました。

認知症になったお母様を、お父様は、人に迷惑を掛けたくない、一人で介護すると言い張り、介護認定をしてサービスを受ける事に大反対だったそうです。しかし、ピリピリしていくご両親を見て、このままでは大変な事になると、内緒でヘルパーさんを頼みました。ヘルパーさんが来た事で、社会との繋がりができ、両親の表情も明るくなっていきました。

お父様に対しては、どんな人か考えた事もなかったそうですが、

認知症になった妻に「恥ずかしい事はない、面倒見るのは当たり前」と、ピンチに陥ったらここまでやるいい男なんだと気付かせてもらった事、それが、認知症が家族にくれたギフトだったとの事でした。また、認知症の方は本人が一番傷ついており、皆に迷惑を掛けていると不安に思っている事を知りました。

そして、介護で大事なものは、プロの人とシェアをし、ご近所さんに打ち明ける事だったと。ご近所さんには「言ってくれないから助けてあげられなかったよ、言うのが遅い」と怒られたそうです。介護だけではなく、様々な環境で生きていく私達も、困っている時は誰かに相談する、助け合うことが大事だと思えました。



▲信友直子さん  
(講演会にて)

### 「町政懇談会に参加して」

山極 友子

1月30日、坂城町男女共同参画センターにおいて、「坂城町女性団

体連絡会」と「坂城男女共同みんなの会共催の町政懇談会が、山村町長、白井副町長、塚田教育長を招いて開催されました。

最初に山村町長から、町の第6次長期総合計画実施計画について説明があり、その後意見交換・質疑応答を行いました。

Q 町の育休退園の現状はどうか。

A 育休取得時にすでに町内保育園を利用している子どもは、出産後1年を経過する日の月末まで、保育園を継続して利用できる。それ以降も、個々の状況に応じて対応している。

Q 町内に病児・病後児保育ができる施設を設置してほしい。

A スペースや人材確保の面で、設置は難しい。千曲市にある「あぶりこっこ」や上田市の上田病院といった近隣施設、坂城町社会福祉協議会の行っている「ファミリースポートセンター事業」等を利用してほしい。

Q 通園申請をする際、社会情勢に応じた配慮をしてほしい。

A 申請受付などの際に、個々の事情に応じて対応している。

Q 新複合施設について、町民の意見を聞く機会があるか知りたい。

A ワークショップ等で、中高生やシニア等、幅広い世代の意見を聞いている。また、基本構想・計画の素案ができ次第、2月上旬に公表し、町民の意見を聞く予定である。

Q 区や公民館単位で、病気の予防教育を行ってほしい。

A 現在は、乳幼児健診で、生活習慣病予防となる生活習慣の指導を行ったり、健康に関する出前講座を行っている。地域に向いての講座・教育は今後の研究課題にしたい。

Q 鉄のほそ道の整備拡充をしてほしい。

A 鉄のほそ道だけでなく、鉄の展示館、ふるさと歴史館も含めた、中心市街地の活性化に向けた整備ができるよう、検討を進めていく。

Q 学校給食費の無償化はありがたいが、子どもから量が足りないという声があった。適した量の提供をしてほしい。

A 質も量も無償化前と同様に保っている。ただ、量に関しては、人によって食事が異なるため、クラスの中で調整するという事でご理解いただきたい。

Q 坂城町には刀匠が3人もいる。町としてこの特色を生かし、刀鍛冶の町をアピールしていくための今後の計画をお聞きたい。

A 鉄の展示館で展示会等を行ったリ、ホームページをリニューアルしたり、SNSや観光ガイドマップ等の活用により、日本刀の魅力を発信していきたい。

住みやすい坂城町、希望の持てる坂城町になるように、お互い努力しなければと感じる会となりました。